

ボランティアNEWS

第22号(2009年1月)

2008年はお世話になりました。
2009年もよろしくお願いします！

「広島赤穂事件を訪ねて」(12月のボランティア研修)の報告

今回は参加されたボランティアの方から原稿をいただきました

原稿 和田敏子さん



和田です

12月6日土曜日小雪降る中、11名が広島駅に集合し、最初に明星院へ行き、住職からお寺の由来を聞く。広島城の鬼門の方角北東に祈願所として建てられ、饒津・鶴羽根両神社を含む大きなお寺だったと。

原爆で本堂は焼失、幸い赤穂義士像は無事で、再建なった本堂に表門隊、裏門隊と分けて安置されている。一体一体義士像を拝見、七十余才から十五才迄の幅広い年齢の人達が参加している。次に松の廊下から討入等四十六の場面が描かれた文字も絵も美しい絵巻物を特別に拝見する。主君への忠誠とはいえ、内蔵助はリーダーとし



て義士達をどのようにまとめ行動を起こしたのか。又義士達は自らが自らの生を断つ無念さは、等々の想いが頭の中をかけめぐる。明星院に心を残しながら、東照宮へ移動、内匠頭の妻阿久利の説明を受け、次に聖光寺の大石親子の供養塔に参り、又広島駅に引き返し、JRで西広島へ。そこからボンバスで己斐峠の市内を一望できる景色の良い場

所にある国泰寺へ内蔵助の元妻リクと息子代三郎のお墓に行く。国泰寺は広島藩の菩提寺で、現在 ANA クラウンプラザホテル(旧全日空ホテル)の場所から移っている。討入り時はお腹にいた代三郎が長じて広島藩に請われ、兵庫の豊岡からリクと広島へ移り一生を終えている。リクと阿久利、赤穂事件の主人公の妻達が広島と深い関わりがあり、特にリクは離縁され、元夫・子を弔いながら代三郎を立派に育て、遠い西国 の地で、六十八才で没している。お墓の前でしばしリクへの想いに浸ってしまった。リクや阿久利は赤穂事件をどのように受け止めていたのだろうか・・・



今回は東区と西区、JR とボンバスに乗っての小旅行気分の楽しい、でも人生の儚さも感じた研修でした。明星院の住職、広島城の本田さん玉置さん有難うございました。

写真解説 1枚目：明星院で住職の話を聞く
2枚目 国泰寺の赤穂義士追遠塔で本田学芸員の話を聞く
3枚目 リクと代三郎の墓の前で

「いろんなコマで遊ぼう」

12月6日に教室「いろんなコマで遊ぼう」を開催しました。最初に花コマ、逆立ちコマ、色コマ、空気コマ、折り紙コマ、渦巻きコマの紹介があり、参加者が思い思いにデザインを考え、オリジナルのコマを完成させていきました。教室の後半は、コマ回しに挑戦しましたが、



コマ回しの経験が少ない子どもたちはひもの巻き方から大苦戦でした。でも何度か練習するうちに上手に回せるようになってきました。その中で何度挑戦してもコマが回せない子がいました。ボランティアさんも励ましの言葉をかけながらその様子をじっと見守っておられました。最後の最後でようやくコマが回ったとき、「やったね。上手に回せたね」と声をかけられました。そのときの子どもの満面の笑みがとても印象的でした。こうしたボランティアさんの支援のおかげで、とても和やかで楽しい教室となりました。ありがとうございました。

(郷土資料館 牛黄蒼)

「ホトケの見かた入門」第2弾を行います～文化財課～

1月のボランティア研修は「ホトケの見かた入門」の第2弾です。今回は、仏を作る“材料と作り方”についてお話しします。私達が目にする仏は、ほとんどが彫刻や絵画で表されたものです。一口に彫刻や絵画と言っても、その材料は様々、そしてその材料に合わせた作り方も様々です。例えば、仏画の多くは絹の上に墨で線を描き、粉末状に砕いた鉱物や植物からとった染料を絵の具として彩色します。でもよく考えてみると、絹の布の上に鉱物の粉をのせても、次第に布目から落ちこちていくのでは...?このような疑問も、作り方を知るとすぐに解決です。今回も、知っているとお像や仏画を見るのがちょっと楽しくなる、そんなお話をしようと思っています。



この植物も絵の具になります。さて何色になるでしょう？
(写真は山崎青樹著『草木染料植物図鑑』1985年10月美術出版社刊より)

これからの催しのお知らせ

- こんな催しもあります。一緒に古代のもの作りを体験しましょう。ぜひふるってご参加下さい！
- 1月23日(土)13:00～15:30 ガラス勾玉作り
ガラス粉を溶かして勾玉を作ります。(4ページもご参照下さい。)
 - 2月(下旬予定)土粘土を使ったもの作り
作るものは、土器、埴輪、土笛からお好きなものを選んで頂けます。
 - 3月(下旬予定)野焼き
2月に作ったものを野焼きします。



歴史探訪バスツアーへのお誘い～文化財課から

毎回ご好評を頂いている歴史探訪バスツアーですが、「近現代建築めぐり」を2月14日(土)に開催します。建築史がご専門の三浦正幸広島大学教授の解説で、平和記念資料館本館や世界平和記念聖堂など、広島のパワースポットとも言える建築物を見学します。(参加費:3,500円)ボランティアさんからの申し込みも大歓迎です！なお、申し込みが定員を超えた場合は抽選になります。詳細は同封のチラシをご覧ください。(文化財課 中原)

バスツアーお申し込み方法

はがきの場合

参加希望の旨とお名前、お電話番号を必ず明記の上、〒732-0052 広島市東区光町2丁目15-36 (財)広島市文化財団文化財課までお送り下さい。締め切りは1月19日(月)消印有効です。

電話の場合

1月15・16・19日(木・金・月)の9時～17時に文化財課082-568-6511までお電話下さい。

募集しま〜す!

1 研修会のご案内 事前に各担当施設にご連絡ください。

日時	事業名	内容	会場(担当施設)
1月17日(土) 9:30~12:00	「ホトケのみかた入門 ホトケの作り方」	仏像や仏画を見るための基礎知識を学びます。 (3ページを参照ください)	文化財課

2 事業のご案内 各事業での指導等に腕を振るってください! 事前に各担当施設にご連絡ください。

日時	事業	内容	会場(担当施設)
1/10(土)、11(日) 13:00~15:00	教室事業 「まゆ玉人形づくり」	まゆ玉をつかった干支(丑)の人形づくりの指導。	郷土資料館
1/16(金) 10:00~13:00	大人の教室 「江戸時代のカキ船料理再現」	カキ料理の教室の指導補助	郷土資料館
1月23日(金) 13:00~15:30	ガラス勾玉作り	ガラス粉を溶かした勾玉作りを行います。	文化財課
1/24(土)、31(土) 13:00~15:00	教室事業 「磯の香り! ノリすき体験」	ノリすきの指導補助	郷土資料館
5/30(土) 10:00~16:00 (時間は予定)	「メモリアルデー」(仮称) 20年6月1日に行った館内外を使ったイベントと同様のものを21年も実施予定。	広島城により親しんでもらえるための楽しいイベントを皆様の手で作っていきます。内容はボランティアの皆様にご協力をお願いいたします。参加希望者を随時募集します。興味のある人はお気軽にお電話ください。	広島城およびその周辺 (広島城)

広島城	担当/玉置・本田	TEL 082-221-7512 FAX 082-221-7519 メールアドレス 玉置 tamaki@rijo-castle.jp 本田 honda@rijo-castle.jp ホームページ http://www.rijo-castle.jp
郷土資料館	担当/大室・山縣・前野	TEL 082-253-6771 FAX 082-253-6772 メールアドレス kyodo@hiroins-net.ne.jp ホームページ http://www.hiroins-net.ne.jp/kyodo/
文化財課	担当/中原・荒川・田村	TEL 082-568-6511 FAX 082-568-6513 メールアドレス 中原 naka@mogurin.or.jp 荒川 ara@mogurin.or.jp 田村 tam@mogurin.or.jp ホームページ http://www.mogurin.or.jp